



大学・地域共創プラットフォーム香川 令和7年度の主な取組み

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和7年度の主な取組み(共通事業)

事業名	地域共創タウンミーティング
実施主体	大学・地域共創プラットフォーム香川事務局
事業目的	地域住民の方から地域が抱える課題やその課題に対する考え方を伺い、産学官の様々な主体が意見交換を行うことにより、大学・地域共創プラットフォーム香川の今後の取組みに生かす
事業内容	<p>1 綾川町 開催内容等</p> <p>(1)日 時:令和7年9月30日 (2)場 所:綾上農村環境改善センター (3)参加者:綾川町住民8名、綾川町職員3名、PF構成員6名 (4)内容等 綾川町旧綾上町地域の地区活性化協議会で活動している方や綾川町集落支援員の方に参加いただき、地域活性化を進めていく中での担い手の確保など意見交換をおこなった。</p> <p>2 観音寺市 開催内容等</p> <p>(1)日 時:令和8年2月9日 (2)場 所:観音寺市役所 (3)参加者:観音寺市企業関係者7名、観音寺市職員4名、PF構成員8名 (4)内容等 観音寺市内の企業で人事・採用担当者や観音寺市職員に参加いただき、若者等の県内定着や・UJIターンの促進について、意見交換をおこなった。</p>



大学・地域共創プラットフォーム香川 令和7年度の主な取組み(共通事業)

<p>事業名</p>	<p>産学官金連携による新たな人材確保支援</p>
<p>実施主体</p>	<p>大学・地域共創プラットフォーム香川事務局(プロジェクトチーム)</p>
<p>事業目的</p>	<p>大学・地域共創プラットフォーム香川内にプロジェクトチームを設置して、産学官金が連携して県外の中核人材を6か月間香川大学の協力研究員として受け入れ、県内企業とマッチングして経営課題の解決や人材育成を進めることで企業成長と地域活性化を図る新たなプロジェクトを構築</p>
<p>事業内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> プロジェクト会議(5~1月) <ul style="list-style-type: none"> ・産官学金メンバー10名 ・プロジェクト立上げに向け5回会議を開催 産学官金連携による先進地事例調査(9/2~9/3) <ul style="list-style-type: none"> ・「富山“Re-Design”ラボ」関係団体にヒアリング調査 特別セミナー(11/22) <ul style="list-style-type: none"> ・参加者30名 キックオフシンポジウム(2/13) <ul style="list-style-type: none"> ・参加者45名 産学官金連携コンソーシアム協定締結予定(3/30) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="272 1001 730 1279">  <p><プロジェクト会議開催風景></p> </div> <div data-bbox="741 1001 1116 1279">  <p><特別セミナー開催></p> </div> <div data-bbox="1128 1001 1508 1279">  <p><シンポジウム開催></p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;">  </div>

<p>事業名</p>	<p>出前講座・体験講座等への講師派遣</p>
<p>実施主体</p>	<p>せとうち観光専門職短期大学(出前講座)、徳島文理大学(香川わくわく子ども大学) 四国学院大学(探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣)</p>
<p>事業目的</p>	<p>出前講座や香川わくわく子ども大学、探究授業への講師派遣の実施により、地域の教育活動を支援する</p>
<p>事業内容</p>	<p>1 出前講座・体験講座等への講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ①高校や中学校に大学等の教職員が出向き授業や講演を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施数:80件 ・実施後アンケート:回答数27件 講座の内容について 期待以上だった70.4% 期待通りだった29.6% ②小・中学生を対象とする「香川わくわく子ども大学」を開設 <ul style="list-style-type: none"> ・開催数:16講座(徳島文理大学8講座、高松大学2講座、香川短期大学5講座、せとうち観光専門職短期大学1講座) ・参加者数:小学生173名、中学生9名(親子153組) ・実施後アンケート:回答数155件(満足度:とても満足できた81.0%, 満足できた17.7%) (理解度:よく理解できた74.7%, 理解できた21.5%) <p>③探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣 三本松高校(7/4) 派遣講師(県内大学等9校から20名)</p>



事業名	県内大学等合同進学説明会
実施主体	香川県、四国学院大学
事業目的	県内大学等への理解を深め、県内大学等への進学を促進
事業内容	<p>1 開催日等・参加生徒数</p> <ul style="list-style-type: none"> ①琴平高校:令和7年5月10日/1~3年生 400名 保護者80名 計480名 ②香川中央高校:令和7年6月12日/2年生 278名 ③小豆島中央高校:令和7年7月18日/1~3年生 156名 ④高松東高校:令和7年9月24日/1年生 234名 <p>2 開催内容等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内大学5校、短期大学3校が県内高校へ出向き県内大学の魅力を発信 ・高校生が県内大学等への進学後のイメージがつかめるよう、県内大学等に進学し、県内企業に就職した卒業生がロールモデルとして合同進学説明会に参加 ・琴平高校では、PTA総会に合わせて実施し、保護者も参加 ・高松東高校では、教職員を対象とした個別相談会を合わせて実施、約20名の教職員が参加

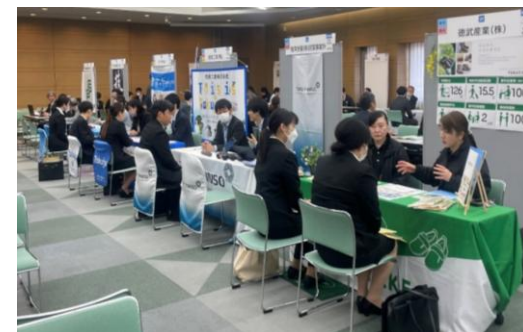


<p>事業名</p>	<p>高大連携キャリアデザイン研修</p>
<p>実施主体</p>	<p>高松大学・高松短期大学</p>
<p>事業目的</p>	<p>県内高校生の保護者を対象とする研修会を実施し、県内大学等に対する認知度向上を図り、自県大学進学率の向上に繋げる</p>
<p>事業内容</p>	<p>1 開催日等 (1)開催日:令和7年11月22日 (2)場所:香川短期大学</p> <p>2 参加者 県内高校生・保護者・高校教員等 100名</p> <p>3 開催内容等 県高等学校PTA連合会と連携し、「第3回県内大学・短大合同進学説明会」を開催</p> <p>(1)キャリアガイダンス講演会 ①演題「保護者・生徒のためのキャリアガイダンス」 講師:山根正義氏(代々木ゼミナール大阪南校) ②演題「香川県ではたらく魅力」 講師:道田祐一氏(株式会社帝国データバンク)</p> <p>(3)県内大学5校・短大3校による進学説明会・個別相談会 学校の特色、入試制度、奨学金制度、身につく力、将来への役立て方 など</p>



<p>事業名</p>	<p>デジタルキャンパスガイドの効果的な活用</p>
<p>実施主体</p>	<p>香川県</p>
<p>事業目的</p>	<p>中学・高校教員の進路指導や生徒・保護者の進路選択にあたって役立つ情報を集約化し、県内大学等や香川県の魅力を発信するWebサイト「かがわキャンパスガイド」について、チラシを作成し、Web広告に掲載することで、県内大学等への進学を促進する。</p>
<p>事業内容</p>	<p><u>1 実施内容</u></p> <p>①県内中高生にデジタルキャンパスガイドの周知チラシを配布(7月) (発送部数18,740部。県内高校43校、中学校72校等)</p> <p>②「デジタルキャンパスガイド」の掲載情報を更新。 ※デジタルキャンパスガイドのPV数 R7.4~12月:8,428PV R6年度:15,947PV(Web広告を実施) R5年度:7,208PV</p> <div data-bbox="1294 478 1903 885"> </div> <div data-bbox="1120 921 1903 1292"> </div>

事業名	かがわーくフェア
実施主体	①4月:高松商工会議所 ②9月:香川県 ③3月香川労働局
事業目的	地域内就職の推進に向けたキャリア支援
事業内容	<p>1. 開催日・場所</p> <p>(1)開催日：① 4月19日(土) ② 9月27日(土) ③ 3月 9日(月)</p> <p>(2)場 所：① 高松商工会議所 ② あなぶきアリーナ香川 サブアリーナ ③ サンメッセ香川 大展示場</p> <p>2. 参加者数</p> <p>①127名(延べ) ②135名 ③本資料作成時は未実施(開催前)</p> <p>3. 開催内容等(①②③共通)</p> <p>県内企業の情報を発信し、県内就職に繋げることを目的として、県内企業による合同企業説明会を実施したもの。</p>



事業名	①業種別オンライン県内企業見学ツアー②うどん県の自治体で働こう大懇談会
実施主体	香川大学(キャリア支援センター)
事業目的	①大学等学生の県内企業に対する理解を増進させ、県内企業就職及び県内定着を図る ②県内大学等学生が県内自治体や地域で働くことの動機付けを行う
事業内容	<p>1. 開催日・場所</p> <p>(1)日 時:①令和7年8月21日、22日 ②令和7年9月30日</p> <p>(2)場 所:①オンライン開催 ②香川大学多目的ホール(高松市幸町1-1)</p> <p>2. 参加企業・自治体</p> <p>①県内企業19社 ②県内自治体等16団体</p> <p>3. 参加学生</p> <p>①県内大学等学生121名(香川大学72名、四国学院大学12名、徳島文理大学11名、高松大学7名、香川短期大学7名、香川高専4名、県外学生8名)</p> <p>②県内大学等学生54名(香川大学52名、四国学院大学2名)</p> <p>4. 開催内容等</p> <p>①Web会議を用いた、県内企業による業種別の企業説明会 ②学生と県内自治体等の担当者やOB・OG職員が一堂に集まる大懇談会</p> <p>※①、②のいずれも令和6年度と比較して、学生の参加者が増加</p>



<オンライン県内企業見学ツアー>






<うどん県の自治体で働こう大懇談会>

事業名	学生と県内企業による、「人材定着」をテーマとする課題解決型授業
実施主体	香川大学・香川県商工会議所連合会(高松商工会議所)
事業目的	学生と県内企業担当者による「人材定着」に関するPBL授業を通じて、①県内企業の意識改革、②学生と社会人が協働することによる、学生の社会人基礎力の向上、③学生と県内企業との接点の創出をはかる。
事業内容	<p>1. 開催日 実施日:9月16日～19日・24日の5日間(1日目:座学、2日目:座学および調査準備、3日目:訪問調査・意見交換、4日目:グループワーク(解決策の検討)、5日目:報告会・意見交換)</p> <p>2. 参加企業 香川県商工会議所連合会(高松商工会議所)のコーディネートのもと、大豊産業(株)、(株)コヤマ・システム、(株)アムロン、サンコー(株)、高松青果(株)の5社の協力を得て、PBL型の授業として集中講義「(特)働き方デザイン演習」を開講した。</p> <p>3. 参加学生 10名(経済学部7名、法学部3名)</p> <p>4. 開催内容等 座学に続き、企業見学ならびに経営者・若手社員との意見交換を通じて各企業の概要や取り組みを把握するとともに、各社から提示された課題(例:認知度の向上や情報発信の方法、新たな企業イメージの構築、県内への若者の定着、新人研修のあり方等)について、チーム単位で解決策を検討した。これらの成果を企業関係者等も参加する報告会において発表し、報告会後には参加者によるグループワークを実施し、参加者間の意見共有を通じて相互理解を深めた。</p>



事業名	高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信
実施主体	①香川県漁業協同組合連合会、香川県農業協同組合中央会 ②香川県中小企業家同友会
事業目的	県内産業、県内企業及び県内産業に関わる団体の魅力発信
事業内容	<p>1.開催日・場所 (1)日 時:①10月12日(日)(四国学院大学)／10月25日(土)(徳島文理大学) ②11月1日(土)、2日(日)(高松大学・高松短期大学祭)／1月28日(飯山高校) (2)場 所:①四国学院大学／徳島文理大学 ②高松大学・高松短期大学／飯山高校</p> <p>2.参加者 ①四国学院大学・アンケート回答数:208名、スープ提供数:350食 徳島文理大学・アンケート回答数:234名、スープ提供数:350食 上記人数内訳(大学生88名・一般(高校生含む)354名) ②高松大学・高松短期大学:一般来場者113名(大学生以下52名) ※アンケート回答ベース 飯山高校:飯山高校生118名</p> <p>3.開催内容等 ①県産農作物、水産物の魅力発信を行うとともに、その生産および販売に関わる企業や団体の魅力を発信。農業や漁業をとりまく厳しい情勢を理解してもらう場を提供することにより、県産農畜水産物の購入に繋げる。四国学院大学では生産に関わる団体の魅力を発信するブースを設置。徳島文理大学ではアンケートに回答してもらった方に、県産かんしょとチヌ団子のスープを提供。 ②高松大学・高松短期大学では高松大学生と共同し県内中小企業がブース出展し、各企業に関するワークショップなどを通じて、参加者に県内企業の事業内容や魅力を発信。飯山高校にて県内企業20社がブースを出展し生徒に「業界」や「仕事」について説明・紹介し、「働くこと」について知ってもらい、地元就職検討の機会を創った。</p>



事業名	学生等による観光等地域資源の情報発信
実施主体	まんのう町
事業目的	若者目線での地域の魅力PRと学生らの地域理解促進を図ることによる人材の育成・定着、地域づくりの促進
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 大学生が、自らの視点で観光等地域資源を見つめ、体験取材を行い、自治体SNSで情報発信。 ➢ 本取り組みを通し、学生はまんのう町を計5回訪問。体験取材等を通し、地域理解を深めた。 ➢ 学生が考える情報発信の案に対し、大学教員や広告事業者らがプロ目線でフィードバック。 ➢ 投稿した記事はいずれも1万ビューを記録。「おしゃピク」のリールは、県観光協会Instagramで今年度投稿された記事の中で3番目に高い「いいね」数を記録。 ➢ 町の広報に対し、若者視点でのアドバイスを提供。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【大学生が作成した記事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 11/26「おしゃピク」 ■ 11/27「ファミリー向けツアー」 </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【町の広報へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 広報誌について <ul style="list-style-type: none"> ・表紙がタイトルと写真のみで、内容がわからない。 ・雑誌のような表紙にしたどうか。 ・ページごとにターゲットの世代を変えたらどうか。 ■ HPについて <ul style="list-style-type: none"> ・デザインよりアクセスのしやすさが重要。 ■ 公式Instagramについて <ul style="list-style-type: none"> ・検索で出てくるのが重要。アカウント名に工夫をすべき。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和7年度の主な取組み(地域活性化部会)

事業名	学生との連携を図る活動情報の集約・発信	
実施主体	香川県	
事業目的	より多くの学生が地域と関わることにより、地域づくり・地域連携の促進を図る	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自治体等が、学生との連携・参画を図って実施する活動やイベント・行事等の情報を集約し、大学・地域共創プラットフォーム香川HP内に掲載するとともに、各県内大学等に発信。 ➤ HPに情報を掲載後、各大学等から、学生へ情報を展開。 ➤ 令和7年度は、以下8件の情報を発信し、延べ89名の学生が参加した。 	
	主催者	イベント・行事
	高松市	サンポート高松トライアスロン～瀬戸内国際体育祭～
	丸亀市	丸亀市障がい者スポーツ大会
	土庄町	第43回小豆島まつり
	香川県	せいしょうねんラボ
	多度津町	瀬戸内国際芸術祭(高見島)
	土庄町	第44回瀬戸内海タートル・フルマラソン
	多度津町	たどつ桜たんページェント
	高松市	ノジマTリーグ2025-2026シーズン 日本ペイントマレッツホームゲーム

事業名	若者のUJIターン促進のための意識調査
実施主体	坂出市
事業目的	人材の県内定着及びUJIターンの促進
事業内容	<p>➤ 県外在住の若者等(県出身の大学生・社会人等)を対象に、居住地選択の要因等について、インタビュー等で調査し、各構成員に共有するとともに、その対策の方向性を提案。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>【大阪移住フェア参加者への調査】</p> <p>■ 調査対象 10～50歳代、県出身6組・県外出身19組</p> <p>■ 移住を考えるきっかけ きっかけは「家族構成の変化」が多い。 詳細には・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住環境の不満(家賃の高さ、家の狭さ) ・田舎暮らしの希望(都会は人が多く疲れる) ・子育て環境の改善(自然のある環境を希望) <p>■ 対策の方向性(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居面(価格、広さ等)アピールのため、不動産事業者との連携 ・「お試し移住」など、気軽に香川に来られる施策(県・市町が連携して実施予定) </div> <div style="width: 48%;"> <p>【県外大学に進学した大学生への調査】</p> <p>■ 調査対象 香川県出身で甲南女子大学に通う大学生 学年:1回生1名、2回生5名</p> <p>■ Uターン就職の意向・将来の人生設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内就職希望者→仕事よりも生活面を重視 ・県外 // →仕事面や都会の生活を重視 ・将来の人生設計は、 「就職まで」3名、「結婚・子育てまで」3名 <p>■ 対策の方向性(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県別「所得/支出額データ」などを示しながら、就職後の生活も考えるよう促す ・県内企業でも成長や活躍の機会があることをモデルケースにより示す(県事業で継続して県内若手ロールモデルを活用) </div> </div>

事業名	まちづくりに活かせるファシリテーションスキルアップ講座		
実施主体	香川県		
事業目的	地域の多様な人材と協働したまちづくりの推進		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 県内大学の知見を活かし、主に自治体職員向けのファシリテーションスキル向上の講座を実施 ➤ 講師:香川大学 イノベーションデザイン研究所 村井 特命准教授ほか ➤ 自治体職員を中心に各回25名ほどが参加。 		
	【講座内容】		【講座の様子】
	I 11月20日(木) 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・講義: 市民協働の基本概念と重要性 ・ワークショップ: 地域課題・地域人材の掘り起こし 	オンライン
	II 12月18日(木) 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・講義: 特色あるまちづくりの事例紹介(外部講師3名) ・グループワーク: まちづくり活動の情報交換 	
	III R8. 1月22日(木) 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・講義: 効果的なファシリテーション技術 <ul style="list-style-type: none"> -ファシリテーションの準備と心構え -アイスブレイク、KJ法、田の字法等 ・ワークショップ: ファシリテーションの実践 	会場: 香川大学 イノベーション デザイン研究所 (幸町CP正門から 東へ40m)
IV 2月5日(木) 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・講義: 効果的なファシリテーション技術 <ul style="list-style-type: none"> -ワールドカフェ、グラフィックレコーディング等 ・ワークショップ: ファシリテーションの実践 		
V 2月16日(月) 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーションを活かして、 どのようなまちづくりができるか?を考える ・交流会 		
【参加者からの意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの一方通行ではないワークショップの方法が知れて良かったです。 ・来月、研修を実施予定なので、早速活用することができそう。 ・会をどう運営するか、イメージができるようになった。 ・概念は知っていたが、今回実践してみることで実際に使ってみようと思った。 			